

講究會 10月の次第

1. 10月4日

時系列の問題

風見 秋子 (第一部)

現象の Prediction に用いられる考え方, など実際問題と, Process との関係について論じた。

2. 10月11日

火災統計について

石田 正次 (第三部)

火災件数の月別観測の論義 (order statistic を用ふ) 夜昼, 冬夏等について火災件数の分析をほどこした。さらに計画する東京都のサムプリング調査に言及した。

3. 10月18日

論文 Sample Criteria For Testing Outlying Observations (F.E. Grubbs, Annals of Math. St. 1950) の紹介

塩谷 実 (第二部)

x_1, \dots, x_n , normal 分布からの Sample

$$\frac{S_n^2}{S^2} = \frac{\sum_{i=1}^{n-1} (x_i - \bar{x}_n)^2}{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2} \text{ の分布を求めてみた。}$$

此に $x_1 \leq \dots \leq x_n$, 此に $\bar{x}_n = \frac{1}{n-1} \sum_{i=1}^{n-1} x_i$, $\bar{x} = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$

これによりトムソン検定の厳密な一つの解決をあたへようとしてゐる。なほ此の論文には 5% pt の数表が附いてゐる。

4. 10月25日

学校調査の計画に就いて

青山 博次郎 (第三部)

カリキュラム調査 (教研と協力) についてのサムプリング計画 (理論と実際) 分析計画について論じた。

1. 層別の規準は規模と地域社会の特性によつたこと

2. Double Sampling を用ふること, その精度の評価